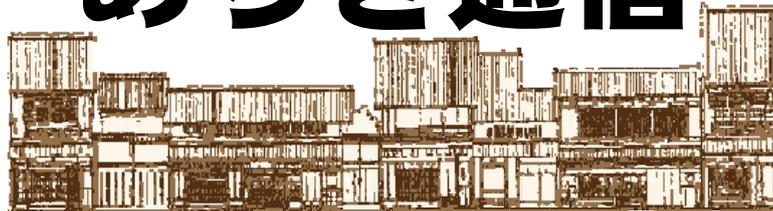


あらかき通信



(株)アラキ工務店 編集・発行 村上 幸男

〒615-0906 京都市右京区梅津高畝町 52-2

Tel 075-882-8668 Fax 075-872-0223

<http://www.kyoto.zaq.jp/araki/>
info@kyoto-kozai.com

早いもので 2011 年ももう目の前

お陰様で年末年始も忙しくなりそうです。

ありがとうございます

前回のアラキ通信から、アッという間に半年がたちました。今年の夏の異常な暑さ、しかも長期にわたり続くという、外で仕事をしている我々建築業にとって厳しい季節でした。

やはり熱中症で具合の悪くなった職人もいましたが、涼しくなるにつれ元気になり、今度はインフルエンザの心配をしなくてはならない季節になりました。皆様いかがお過ごしでしょうか。



さて、アラキ工務店の仕事も忙しいのですが、「NPO法人古家改修ネットワーク」の講演会も 10 回を行い、講演活動も一旦これにて終了とします。この秋からはより職人さんの技術やノウハウを身近で感じ、自分でも体験していただき、簡単な作業は自宅で御自分でできるようにとの考えから、「京町家・古家改修実践講座」を開始しました。詳しくは巻末にレポートが出ています、お読み下さい。

私以下、監督たちは現場での管理監督、事務所でのデスクワーク、工事後のアフターサービス、また次の仕事への営業と朝早くから夜遅くまで頑張っています。何かありましたら御遠慮なくお電話下さい。

宜しく申し上げます。

荒木 勇

お茶室を新築しています。 以前建っていたのとまったく同じ家を建てています。

これが結構難しいのですよ。そうは言っても新耐震の基準で施工しますし、建物の耐震も考慮しなくてはならないし。けれども細かいところの寸法は同じにしないといけないし、と頭を悩ましています。

けれども、楽しい仕事です。いい材料が使えて、いい仕事ができることに感謝です。



今、こんな仕事をしています。 宮内庁の土塀の塗替え工事



今日からこの土塀の改修工事です。ただ、場所がお寺の墓地の中です。中に入れば結構広くて動けるのですが、外側の塀際にはこの檀家さんのお墓が建っており、イヤもう、どうしたらいいのか。と考え込みました。



サア、解体です。といっても表面の仕上げ材と中塗り材と下地処理剤までコソゲ落としします。顔中真っ白、睫毛も、眉毛も真っ白で、頑張ってくれました。



新たな下地処理、中塗り、上塗り、白線引きと仕上げていきます。が、雨が降るとまったくできませんア~~、今日も雨か - - -



運搬は全て手作業で、肩に担いで、一輪車でとさまざま

エート、瓦もあります。これは新規で。金物もありますが、これは修繕再使用。



お掃除もキチンとしなくては・・・

何とか、完了です。

住まいについてのいろいろな話し 第11回

「NPO法人古家改修ネットワーク」が新しく取り組む企画の内容と、

既に開催した講座の様様を見ていただきます。

新しく開催する企画の名前は

「京町家・古家改修実践講座」です。

開催の日時が決まり応募者を募ったところ、驚くほどの多くの人たちからの応募がありました。結果、当初30人ぐらいの規模での会場を考えていたのですが、他のメンバーとも相談し、広いところがあれば人数を増やすことで一致しました。

その後、メンバーからの申し出があり何とか会場のめどがつかしました。結局、参加者は80人近くに増やしましたが、それでも多くの人には断り続けました。サテ、無事第一回目を迎えました。

一回目はこの会の趣旨の説明、役員紹介、日程、各自で用意していただくものなどなどの説明で終わりました。

二回目は早速実技の講座です。今回は左官の壁塗の実践です。

会場ではメンバーの会社から来てもらった職人さんが、手順と道具の使い方を教えています。

サア、かかり始めます。

案外上手にする人、いくらしても上手にいかない人、その人には先ほどの職人さんがついて直接指導しています。



こんなに喜んで頂いて嬉しいです。

私たちの目的は自分で体験、経験することにより、職人さんの技術の確かさや、材料の手触り、匂い、など仕上がってからでは見えないもの、感じとれない何かに気づいてもらい、日本建築の良さを認識していただくことです。

それで少しでも自分の住まいにも生かしていただきたいと思っています。

日本の風土気候に一番合った建物が木造伝統建築だと思います。その中で連続と引き継がれている工法や仕上げは、やはり私達に一番合っているのではないでしょうか。

私もやってみたいと思われる方、一度アラキ工務店まで御連絡をしてください。



弊社会長製作の京町家1 / 10

モデルがあちらこちらで高評価。

先日、岐阜県の中学校の先生からお電話があり、「ぜひとも模型を貸して欲しい、授業で生徒たちに見せてやりたい」との申し出があり、こちらは「運搬が大変ですよ」と言いましたが、自分で何とかしますということなので、御貸しました。



生徒さんから、思わぬプレゼントをいただきました。
みんなのお礼の寄せ書きです、
ありがとうございました。

【追記・京都駅構内にも展示していました】



編集後記

新景観法により建築の外観が厳しく制限されていますが、私はこれでもまだまだだと思います。こうして外観を規制している反面、夏の風物鴨川の床では3年前に一斉調査があり、ある一定の規格に合わせようとしています、期限は2年後までに指摘された部分を改修せよということですが、大方は賛成なのですが手摺の高さを1.1mにせよとなっています。昔は大体70cmほどで座ってみると手摺が邪魔にならずに景色が眺められるという高さが、1.1mでは檻の中に入ったような感覚になります。1.1mは現在の建築基準法の高さにしてあるのですが、これね、床そのものが基準法の範囲外の工作物なのに、そこだけ基準法に合わせるなんて矛盾もいいところ。何を考えているのやら…

村上

住宅エコポイントのその後

前号でも述べましたが、住宅エコポイント。あれから何件か手がけました。私以外にも各々受け持ちの担当者が、頭をひねって書いています。

私の場合は最高点が満額の300,000ポイントで、最小がサッシの取替のみの25,000ポイントで、どちらも同じだけの書類が要ります。

まず、京都の受付で第1次審査し、内定をもらいます、その後東京に送り第2次審査。ここを通過して初めて振込になります。正直振り込まれるまで心配でしたが、事務の北岡さんから「今日振込がありましたよ」といわれてホッとしました。

